

点字ブロック啓発キャンペーン

3月18日は世界で初めて岡山市に点字ブロックができたことにちなみ、「点字ブロックの日」です。和歌山盲学校では、例年、育友会が中心となり、点字ブロックへの理解啓発を記した児童生徒のイラストをつけたポケットティッシュの配布を行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年、3年は取組を行えていません。

このような状況の中、他の地域では、配布物を使った啓発をやめ、最寄りの駅と協力し、駅の構内放送を利用し啓発活動を行っています。本校も、JR西日本和歌山支社様の協力を得て、駅の構内放送を利用して、点字ブロックを啓発する活動に取り組みました。

12月にJRの方に来校いただき、生徒会役員も参加し会議を行いました。会議では、点字ブロックの啓発内容について「自分たち（視覚障害者）にとって点字ブロックはどんなものか？」「企業として、点字ブロックの啓発として伝えていきたいことはありますか？」といった視点で協議をしました。

話し合ったことをもとに、中高生徒会・専攻科生徒会のみんでアナウンスの内容を考え、録音には小学部も含め、たくさんの方が参加しました。

<アナウンスの内容>

皆さん こんにちは。

和歌山県立和歌山盲学校です。今日3月18日は点字ブロックの日です。

点字ブロックは、視覚に障害のある僕たち、私たちが歩くとき道の様子がわかり、安心して歩けて心の支えになる大切なものです。

点字ブロックの上で立ち止まって話をしたり、物を置いたりしないようにご協力お願いします。また、白い杖を持った人を見かけたら親切に声をかけていただけると嬉しいです。

点字ブロックの上に立たないで！

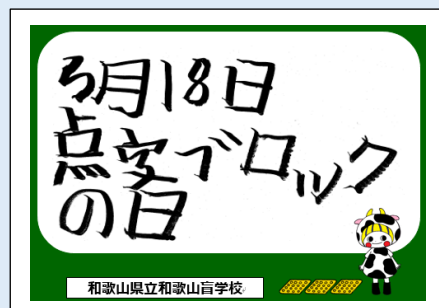
物を置かないで！

声をかけてください！！」

点字ブロックは

僕たち・私たちの道しるべ！

和歌山盲学校からでした。



3月18日当日は、小学部2名、理療専門部2名がJR和歌山駅に行き、今回の取組について呼びかけました。学部を超えて、4人で協力して、PR中です。高等部の2人は小学部の子たちをリードし、小学部の2人は練習の成果を発揮して、大きな声で呼びかけができました！



校長先生から、JRの方に今回協力いただいたことにお礼を伝えました。

和歌山盲学校では、今後もこの取組を続けていきたいと考えています

